

どいが18日、同市三島宮川4丁目の市福祉会館であり、被災した障害者らを支援する全国組織「ゆめ風基金」の代表理事が講演し、市民ら約400人を前に、人とのかわりが豊かに生きるこ

市教育委員会主催。脊髄性小児まひ（ポリオ）で両下肢不自由になった牧口氏は、阪神大震災の際、情報などを求める障害者が後回しにされたとした上で「あれから16年たった



「歩かれへんけど歩いてる」講演した牧口さん

な「剣さばき」を競った。スポーツチャンバラは、空気の入ったゴムチューブの剣で打ち合う競技。大会は県スポーツチャンバラ協会（河村直仁会長）が開き、小学1〜3年、同

# 演説術楽しく学ぼう

スピーチ技術などを学ぶ非営利教育団体「トーストマスターズ・インターナショナル」（本部・米カリフォルニア）の支部公認に向けて活動していた今治トーストマスターズ（白石道子代表）がこのほど、県内初の公認クラブとなった。代表の白石さんは「今後も楽しみながらいろんな人と出合える場になりたい」と、クラブのさらなる発展に向けて意気込んでいる。

トーストマスターズ。今治は7月、白石代表インターナショナルは1924年、世界に通用するリーダーシップとコミュニケーション能力の獲得を目標に設立。現在、世界133カ国に1万2500以上の公認クラブがある。

今治は7月、白石代表を中心に活動開始。公認を受けるには会員20人以上が必要とされており、公開実演会などを通して会員を集めてきた。白石さんは「思った以上に早く集まり、こうした会を潜在的に求めている人が

## 今治の団体 県内初 公認クラブに

多いとあらためて感じた」と話す。

今後の目標は今治市で中四国地域の公認クラブ会員を集めたスピーチコンテストを開催すること。白石さんは「今治に人を呼び込み、盛り上げられたらうれしい」と情熱を燃やし、新規会員を募集している。

例会は毎月第1土曜日の午後5時15分から、同市北宝来町1丁目の市国



支部公認の認証状を手に、さらなる発展に向けて意気込む今治トーストマスターズの会員

## 中四国大会開催が目標

際交流協会で。日本語と英語の2部制で、どちらか1部だけでも可。入会金は5千円、会費は半年

ごとに6千円。問い合わせは白石さんへ携帯電話080(4114)2748。

(白川亜子)

## 交通安全推進に役立てて

西濃労組松山市に100万円



交通安全推進に役立ててもらおうと、四国西濃運輸労働組合（東温市上村）は19日、松山市に100万円を寄付した。

市は幼稚園や小学校などで開く交通安全組合では毎年10月、「カンガルー運動」と

全教室の機材や啓発

